

一人でも多く家族の元へ

震災不明者の集中捜索



東日本大震災の発生から1年半、県内では今も、およそ1,200人もの方々が行方不明のままとなっています。

一人でも多く、家族のもとへ返そうと、11日、沿岸では警察や消防、海上保安庁などが合同で集中捜索を行いました。

このうち153人が行方不明となっている釜石市では巡視船の甲板に警察や消防、海上保安庁などの職員が集まり、集中捜索が行われました。しかし作業用のヘルメットや帽子などが海底で見つかったものの、行方不明者の発見には至りませんでした。潜水士は「1年半も経っておりますので、なかなかご遺体発見には至りませんが、これからも、まだまだ発見されていない遺体が多数ありますので、引き続き潜って捜索していきたい」と話していました。(9/11 ニュースエコーより)

陸前高田の季節へ

奇跡の一本松 保存へ切り倒し



陸前高田市の「奇跡の一本松」をモニュメントとして保存するため12日切り倒しの作業が行われました。復興のシンボルとして来年元の場所に戻るまでしばしのお別れです。

戸羽太市長は「この場所から松の木が無くなってしまふことは非常に複雑な思いもしているが、これから復興が始まるわけですし、長い長い年月がかかるわけですから一時的にここから松の木が無くなっても、また新しい姿で帰ってきてくれると、それを楽しみにしたい」と話していました。

再び一本松がこの場所に設置されるのは来年2月の予定です。

(9/12 ニュースエコーより)



おおつち災害FM発

「さんりく元気ラジオ！」



臨時災害FM局をつなぐIBCラジオ「さんりく元気ラジオ！」(毎週水曜日・ワイドステーション・午後3時半～)、12日は「おおつちさいがいFM」と

結び、22日に行われる大槌稲荷神社祭典と23日に行われる小槌神社祭典について紹介してもらいました。去年は震災のため、小槌神社の境内でのみ開催。今年は2年ぶりに2つの神社で開かれます。盛土をする前の元の道路を歩くのは最後になるということで、地元の方の思いなどを伝えてくれました。

IBCまつり in OROパーク2012

復興支援グッズ実演販売コーナー

9月15日(土)16日(日)の二日間、OROパークを会場に、開催されるIBCまつり。今年は「復興支援グッズ実演販売コーナー」も設置します。

9/15(土)

- ・大槌町「大槌刺し子プロジェクト」
- ・宮古市「復興かけあしの会」

9/16(日)

- ・釜石市「和ring-project」
- ・宮古市「復興かけあしの会」

写真は「和ring-project」の作業工程の様子。大槌・釜石地区の被災家屋から、居住者立会いの



下、柱材などをもらいうけ、キーホルダーに仕上げるもので、研磨作業を、仮設住宅で生活する方々への内職に出し、仕事を生み出しています。

「IBC復興支援室だより」では、ラジオ、テレビなどIBCを通じて放送する、震災復興に関するさまざまな情報をピックアップし、リリース等を通じて定期的に発信・紹介します。

IBC復興支援室事務局(ラジオ放送部内) 019-623-3122